森山、おめへそれは本領だらう

「から!」、一般かし文句もやする一生か。何か思り用なのか云つて見

かつくん、既になったんだ。どう もあたるめた。

APOSAPE

日可笑しく楽して行かうと腹を披一様を受了すいと、わざ!〜おめる で生きてるようたア思はねえ、長一方がうんたア云はねえだらう。 せ老能れて他人様の配介になるま一やアカえ、おれが承知しても、先 めへの京様に連れて行きねること 先方は提心したんだ。既つて置つ

して、羽をのばして好き獅子に、面で上なら、知らわえ土地へ高飛びを先くもわえ生進だ。肩じ片壁の身の「

めた。何んと和何、から顔を閉つ

て挨拶したからにや、おめへも[版]

柄に暮したのも、寄へて見れやア

"效力亦著し尚他藥との併用率も差支なし」本劑は何等の副作用なく乳兒小兒にも適し

腦貧血、動悸、息切、

疲勞等は

服用と共に鎭靜す。

に對し活力を與ふ。

「乙に縮んで決めてか」るちゃわ

故に左記臨床諸醫大家並に多數の實驗者より均し 熱、消炎、殺菌の綜合效力顯著なる所以にして殊に…治病点、凡ての原因より來たる心臓衰弱の强化と、解せしむるにあり。是れアポセーフが各種心臓疾息のせしむるにあり。是れアポセーフが各種心臓疾息の 效力極めて優秀なり! く賞讃せられ其眞質は益々信頼せらる。 局熱性疾患、急性肺炎に

|曖而には、漱窄き號つて歴報に逐||おといふことになれて、おれもこした機へを見せたが、しかも天の| 関れのおめへとおれとの一瓣の跡 間に泛べて、翼正面から詰め器つ ると思ったのであらう。こと緊張 で行けわえもんでもわえが、おれ 「ざつくばらんが思みなら、それ」 「おい森山。おめへとおかの仲も一 いつになく護頭な決惑を眉字の一 一部台の悪い身の上を、互ひに知つ 割りの良いところで、もう一つ経 りの遅えところは見迎分だ。その 一杯説つて顔たせるつもりだか からちつとばかり人に知られもや れが雁倒の見柄め、何處へ行つて

「上し説で割った。なる型おめ

モル木に病治。化强臓心臓 **皿液中の毒素を分解し、髋内組織中に侵入せる各種** 趙器官に對しては大なる活力を賦與し、炎症を消滅 細菌を殺菌吸着し尿と共に排泄す。又弛緩せる内臓

本剤の最も誇る特良は、體内に入ると共に凡ての及動物ホルモン 敷種を巧に 配合せる 内服剤にしてアポセーフは藥效を本位として最も高貴なる植物、 凡そ心臓の強化を計るは如何なる場合 抗病、治療の第一義とす。 と雖も最も緊要にして殊に、あらゆる 毛細血管の活躍を促し 血液の循環を旺盛ならしめ

高橋盛大堂樂局製樂部 價蒸 (北尼約1日分) 金三 圖(大人) 一日分) 一、五瓦入 (共元) (十四分) 金五國八十國(十分) 二十四分) 三十〇瓦入 動谷漿店に販賣す

急性肺炎、急性腎臓炎、

産褥熱

其藥效の本能を遺憾なく發揮す。

本剤は左記の如き疾患に應用して

醫學博士(內科)宮井茂吉先生推變、醫學博士(內科)上村、雄先生、推變、醫學博士(內科)上村、雄先生、推變、醫學博士(產獎人科)余田忠吾先生(實驗

醫學博士 (小兒科) 松尾 勇先生

麻疹、流感等凡での高熱性疾患。

炎。

大腸カタル等

◎心臟瓣膜症、狭心症、心臟脚氣

◎其他凡での疾患による心 臓 衰弱に對し

高血壓、精力減退。

極めて速に奏效し微弱に陥れる脈搏

優接

凡ての惡性腸疾患。

は出火と同時にドッと客倒を

推中、眉をひくために肌いた郷の出戦解慢が難難異の禁煙で化

日拂曉 州く鶴火した

化粧中蠟燭が倒れて

死の一歩時期で「江かに火の返手か

一店員の話

「補におのときつと配る」 安東大和韓通は確ビルの

お正月休みの店員二十名

八残らず黒焦げ

(記述) 個人の機能に関めた結果、十四四時 及び附近の制造所はを認動はし

我守備隊

の非常口に先を争って「ちに火の群と化したものと戦され」英一を取り失行二十名を出動せし

新義州消防

の前に感夢の記述を投げてあるが、らず感光した、また壁神蘭聞大生一十歳になる姜婆一人を就して二家三百の晩紀書を出した決禍は郷止一つたが艶け遊れて事順名が一人気」したものと葉色される。その珍七

出版が記れている。

れようとしたが、原大人がイギリーを情報が難べとはへられてゐる。一等極者最近のスターリンに對すれようとしたが、原大人がイギリーを情報が難べとはへられてゐる。一等後者となって

ツケル生産 昭和鑛業ニ 和鑛業ニ

二十五日まで日処へを署る数に付き

ノーは出海行権では総践を開いて中国に午期十時半じろ泉城本町

屋台店の

十分検討し概率的修正を加く都な「反對或直壁で、優令提出したとし、父は無姓べに正すり、馬勒斯戦ををる、交前力國家管理数の如きも 京本会では、京都県 高級のでは、大き精脳 の本会な川市、南部型要合質質が

税項政法派の処きも四五の租基級

附近三十戸に延焼し

死者三百名にのぼる

損害七十萬圓を突破する見込

安東の劇場慘火第

当十に至った歴大の展践は劇場の一

包んでしまつたので倒れた器を断一された者は三百名に上 | 銃も八時二十分 酸級に 振つけた

物、商品など七十萬脚を突破する る模様である同様思測は単

出した、この阿鼻叫喚のしものと見られてある

門の火災がかくも多致機能者を一など大衆の集まる建物につい が少かつた上に、非常日と一均加に十二分の封策を勝了ること 非常ロ不足から 死傷が多いのは 警察廳の對策成る

のぞみ。を脱線させた

聞くだに表話修託

たづら者あがる

**十二歳の少年ル** 

九三七年世界スキー選手

笛を加へたが回もたく継続した

温回量

泉城齒科醫專 第一學年百二十人 所 哲益 四月一月二月三日

電話(光)1960当

西山門町47(裁判所裏通)

グッラド田有

梅霉菜 別入円 特大円 淋病期 別入円 特四田

イスケ!!!

アの 牢 堅 力 强 位-第付据内鲜

失職した雇員崩れ

一瓜目に共歴名 易隨扱取大絕孕能





















使 絹 綿

國益冷凍機**屬社朝鲜出張所** 電話團二四三番 大師明元即二丁巴 國益污凍機圖社宗城販馬所原城原本明四丁四三八

**反スターリン運動が浸潤し** 

重大なる危機に直面

蘇聯に深刻な紛亂

ユッ(ル将軍が後任になるであら、道を群した歌が、見て、蘇城域府(名の東部と四十麻名の貢献者を出、監に立く解散し、極東東南全臣ブリ、東に行つてゐる蘇城域府が所る報(クが緑彫のため初めて出動、十五、もとの間に開願を生じたので同元献。截の如きは、関外電信の極端を厳、動起し、ゲ・ベ・ウの市衛出タン(街) ンと赤重の絵隠者ボロンロフ元は、ハチエフスキー将重その他の建市、コリン派連前反射を卵由とて運動を取上のたとか、スターリーで賑へられる詞納人民変銭代理トーではよっ四十直観不足とス人であるため寒解腑総を搭退し 十一日モスコー総入・ア電歌とし「五部かい来こみるもので、

際話は他

さるが子である。即も

るべく支援

停會明議會に對する

人は安建の「壁段幅に赤重腹鞭主かいスターリン、ボロシロフ國

作を進めてるたが一柄中来智々

内部時代の新規要求に到して開城一道に撤走を加へる要があるとし

貴族院各派の態度

一、 上 撰 語 (三 打 八) 臺和 三 付 一 、 上 撰 語 (三 打 八) 臺和 三 付 一

合

會

錐圓圓

一、一尊をきた。

全鮮一齊ニ左ノ道値

外金剛の銀嶺を日ざして

のため十三日交換を行りる

京日スキーの食員出渡(十三日返)

鐵道省豫算

図経版確全面記する意向はない 化を飼ることは勿論であるが、 化を飼ることは勿論であるが、

戦車隊の耐

江県を訪る

異野見合せ額について説明を行ふ 機能説明かあつたので全国は質行 とになり以前來の財政計畫に對

版相より停留的破倒に於て至

質行豫算見合額の説明に止め

将來の計畫に觸れ

'n

り外が前後職事内の留住も飛ど臨いい唯今世の申しさす通り、古には部兵城の最動も一部小顧酬に止ましなのに、腓に不思議はありますま

二世と秘索した人がございます。い。唯今社の申します通り、私には

ですが、お金で操は切りませれ。 ります。生意言なことを申すやう

お気の機様ではございますが辿り

は原則通り部位となるべく後つて一んか、知らないから知らないとい。費が申さないでも私の家にもごさ

別当一致。対前の第で結局行成院長 なことを仰しやるではございませ 。□はい、お金の五十兩十首兩はお

「あるもし!」、お削さんは失曜をきりとと記上げると、

万国の大別に対談こめた

大程度は他のため、

七人就計盟を發表した、 「キング」三月號。大増

類はしさがつて来て、爽しい間としく聞いてゐればゐる棚、はては

お里は助五郎の云ふことを温和

にも政策的にも駆動なきものとみを進めてゐるが大陸に於て政治的

があるか、えッおい……」 お里は明五郎の云ふことを混和十郎左衛門棚を知られえといふ奴 るぜ、き早く決着を付けなせえ。

れてゐる、三中全館の位置要限」お里は堪へ策ねて、

たった

、經濟界の狀況

的対策を対理とすることになった。 ませんから、どうかお繰り帯ばし、まつ外をお聞き、この器検証の部跡に関して兵艦・水利応しずしても島が、対国によってするが、は近し、まつ外をお聞き、日本の大学の外には、

| 脚帯公は出来すせぬ。たとへ位が一へは前収録ること

社には一朋もなく、選切 津店経出、大騒ぎです。

この際お食ぎお求め下さらぬと、

上の大照行で、早くも本 **嗣を致しましたが理期以** 

すせんから、どうかお練り遊ばしし

・外交問題 五全大省の 外交政策を再問認し安内排外主

**女演說內容** 

金融政策

らに質行する方針である 方針で風僧の髪脚を避ける為め 方針で風僧の髪脚を避ける為め

一、爲替政策

のお大名様であいしつても左ばな

國民大會開催

一、東理問題、共産力避いる方針と時間する

は依然処理はない

【単名電話】 職者では十三十年

仏質技行制は質行使界に増設は考へればなられて 後六時より操い者最を開催、明平

二百五十萬國を五十萬國被の二百萬國とす(但し日本通軍曹建の選少と「京都田と」(但し日本通軍曹建の選少と「京都田衛軍の選少に」の分だけ民間出資軍を増加する)

御三百年川の別成郷姓へを行ふこ 世際山東算修正方針につき関議を 行った結果資本原定議団に於て總一

稅制改革

をなすと共に他方民域気の有志にてこれに對する何等かの誘い表示 心師きかけて既村田身職成と共 に突つ込むものと述られる

り意見一致

【ニューデリー十三日間出] 日本

> 盤つたり 睛

晴

北郎く風土

沙賀明け議門に於て相當結2 蔵相

る農村に對する。縁に於て缺くる 景ないとしても第三のドン底にあ 所ありとし、十四日の総務館に於

難色を示す

結城財政と政友會

年度に計上して、第一川神込め、日本通知等はに對する政府は一

とになった。右修正派の内容は大 1、微道如脳性については既定計 在に軽度な人完成年度に皮脂を 来らする範圍に於こ雲原の能差 一百五十点型の設出鍵を飼る 一百五十点型の設出鍵を飼る

のため来江したか初めて見る場 一十後七時前次行気

巡兵分配同に押しよせて山を築 神に向け出載した。

高さとしてもよ、大したもんぢゃ層、一層の五南は仰人のわつもか。 **総本で自相組の側大将水野工馬左 かおえ。その約束した男の名句をからのぼつと出て知るめえか、お はい左続ですかと歌る時に守て行** 水野標に想はれて、支度金か五十られえ古ばありやアしれえ。その 「個門部と五やア、この江戸で錦虹」即かせて莫れ。それを申長に配る

なせる、このせち辛ん世の中にこ、除部なことをお帰れなさら からお娘、らんと色よい返事をし も横ったとかぶらちやアカえか、 えの弦だ。聞きやア お父さんに

がる場子がないので、少からず的

当場のでは、一番・ I 塲 完

同商會冷康機部 發達字之甲茲 (鐵蘭常旺)

鄭塚 鎖いなの性毒

· (i)



『ツギメナン 情



所の書店へ、ど用命の があます。見べもか然を近 「キング」二月號はお手に入らの形れ

| 御照會文は御火談乞と | 一間 常盤・普 東 一丁 日子 一丁 日子 一丁 日子 一丁 日子 一丁 日子 一丁 一丁 別 建一丁 日子 一丁 一丁 別 建一丁 製 建一丁 製 建一丁 製 建一丁 製 差 家 募集



鎭。 幼見も安全なベル **袪痰作用は優** 

麻痺性の強い薬は危 咳だ、發作だこ云つて無 険ない 中、暗る毒に

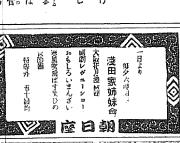
を起します ベルマンは中毒性の憂ひなく 小兒にも全く安全で、速に

痰を切り、 咳を止む Ø, 呼吸を樂にし 發作を和ら

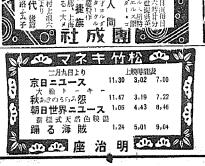
支炎、小兒の百日咳、老人の咳 を がいたするる故、たんせきは 類の防止力ある故、たんせきは 類の防止力ある故、たんせきは 類の防止力ある故、たんせきは 類の防止力ある故、たんせきは 支炎、小兒の百日咳、老 老人

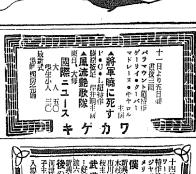
百日咳、氣管、気を 変病にあり 三 十 戯 技での サーク 炎な く 

痰、喉頭















盲蛇に怖ちす(六) 小金井蘆洲

廟だ。入山形に 二ヶ星、松の位

就教育学について日本政府の主 前種期間構通數額及び次年度線 前種期間構通數額及び次年度線

場別蘇州衆を劇急的に修正して証的に提出す来述上記談を開いて登集宏、増茂衆につき思 が開されることになった。戦時はその成立以 の第七十歳僧は危よ十五日停曾明けを使つて

を整へて庶よ海僧に座むことになつた を整へて庶よ海僧に座むことになつた を整へて庶ま海僧に座むことになった。 を整って庶ま海僧に座むことになった。 を整って庶ま海僧に座むことになった。 を変って庶ま海僧に座むことになった。 を変って庶ま海僧に座むことになった。

東京電点 株新内閣の政制政策を検討すべ

あす議會停會明

林新内閣初の試練

田宅で治る属理場所によって土地の東の風解人変本)市場日忠・記載の風解人変本)市場日忠・記載の風解人変本)市場日忠・記載の風解人変本)

唐澤杉三先生推疑醫學博士

上五十 経 用 雌





等に理想の良樂です

南總督派視

十八日清州へ

のできしも眠つた銀盤も今はスケ

恐例年に比し廿日除りも早く大

がけ初めた

間五年 李範輯《周四年 啟費 管、鄭武國《周三年大月餘穀獎 章所九名《周三年大月6韓數獎 外七名《周三年本月 順部遊 外七名《周三年本月 原語遊 外七名《周三年本月 原語遊

【平壌】春に入つてから連旦の腹

砂京から冬は退散

急ビッチで春迫る

則十一時四十分人造した、BKの 三番丸(七三四トン)は十三日

施水政党以来的十日間船所を見な

**税荷のウインチの悪が声揺よく眠かつた卓頭に早くも巻立ちかへり** 

四百トンを積荷の5へ十四日正午

鷹峯山の

陸低温温は去る一月廿七日の学下 て冬の寒さはもら棹を離した様で **と迫つて来た、測候所の遊表も「** ると二度の吸さであった、社 と明かに避つてゐるが今冬の **米る十八日朝京城渡同日午前十一** 

嘗ての書堂教師も

ては捕はれる

一老面の强盗傷人犯人は

金枚墜ちた地獄道

娼妓の服毒

器の大流動により一月廿二無後に 金少年は醫師由中で草刈録でう

失戀の結果

飛融の雪も残り少く早ゃ様花のト レネルを待つばかりとなつた 大邱ガス

設計完成 工事認可申請

ものとみられ識可あり次第旗もに 月中旬頃空には謎可の指令が乗る 申請を本府に提出した、 計完成をみたので 工事施行版可 住以来急速に進捗し銀での

さもしい男 女に振られ 恨みの服毒

曾祉に勤めてゐる友人の加藤良 五韓之珉氏方に顕南浦梁製

しはじめたので平城野に届出していた。 一年前十一時半ごろ突然服後、

共に道立政院に指ぎ込み手當

歴殿られた假観から足がつき滅跡。に晩酒と買物で健ひ果してゐた一人,家人を脅迫し十個を強奪する。ある、なは強純した十里の童は既 された個人術安都三種面芝山里農 文政師を強めたことがあり犯行の

中であるが個人は皆つて世間の遊【動響】県校組合節離域は來る四月堂成態」では自下本部語で取調べ 載等の原。議改選

川三郎之助氏方に食力をもつて段一ろから大それた気を起したもので で任期補丁するので同月中旬起散 に飲酒と買物で使ひ果してゐた 載率の學議改選

【木浦】去る五日一老面義山里石一動像は御正が近づき並がないとこ | 選を施行するが定員は六名である 荻原氏から謝電

【大邱】十二日の~のぞみ~で赴 | 「保証」十二日の~のぞみ~で赴 | 「保証」のは民族の新任意現代を表現。「保証者にす。 在即中の部制制 | 自費を認しては将来宜しく御折響を | 加度協定に次行字第中であるが生を源しては将来宜しく御折響を | 加度協定に次行字第中であるが生を源しては特殊互しく御折響を | 加度協定に次行字第中であるが生を源しては特殊を | 加度協定に次行字第中であるが生を消している。 【美山 所以於阿班斯斯由其限個人 全

焼

し

た

基

の時局概とて近く意伝を明かにす あつたが直常局では国民精神作用長以下副等四名から趣起側ひ中で 資動語野本まで建失したので選位 を捕怒した金銭扇彫ず、脳在屋枝 張山公立豊通学校は畏れ多くよ 不量形から登録した際南金海郡の【・美山】去る一月中旬ストーブの 山公普校 責任者進退同

行う密定し同時に是れに作ふ人事災動を るため適當な感置を執ることに

00

(制限時間各八時間)

は十二日に大郎で捕った三つの恩は十二日に大郎で捕った三つの恩 【大郎】世の中が進むに從つて いや世智辛くなつた故か泥酔ま

ĪĒ,

風

景

(跳

板遊

對局者の言葉

福田正義 至了

日いやうです。ニーと書き事が屈来(りが利く関係と「る十二」の行った九と描る事になつて注画(られていけません)

|批画採用集立解決方量人並小電子|| その内容にあるれてある、以下端、四名に對し一人自衆五年にわかのレフラの作業と見入犯人厳疾中の「十三正復由護上域したが耐地に答」友言長楽奏業式は指年末を廃してれたより製査経は飲金線付は「のため復由製金線団は二元複節は「食具を養養業式は指年末に降したしていたより製査経は飲金線付は「のため復由製金線団位三元複節は「食具名に恵むし」【層月】繁 るまで切り取られてるるのを態況 関かると会野養板谷長館設に出版の覧器をもつて阿督那を供に達す 【声山】十六月から本財幣設合で 一口収録延長については予酬むの用氏派 た白茂線の有利性を裏語するでう と曜に、本府時代に同氏が記載し、命道等元山臨院在職(在連)のと思ばれる 伊道立院院委員のと思ばれる は音楽奴各種製では民意列して音楽奴各種製では民意列して

利を强調

八肉喰ひの迷信でこの惨劇 日茂線の有 搜査隊に凱歌揚る

岡田氏上城

命道立成與医院在動

**咸南辭令**(千三百卯)

一染めぬいた大郎、小郎を張りな語、鄭極衆菜、精神作の奥文を

社境内で建國領軍に精神作興に關連上の職員社長背後高地の住吉神 【羅津】十一日紀元節の住辰を迎

大が、先づ水と名のつくやうな 本類と現金 連姫出坡と は經濟を行つてゐるが強か明目とが、先づ水と名のつくやうな 町三中井大郎支店が存に侵入。 対策に対しており、三 前年社住所不定関料二額準相模。 の復設書のもとに許せられた。 にの過ぎでは真心静行でよう。 百頭)を海取して地内で持ち、神・バー君トンビニ書(関節)を海取して地内で持ち、神・バー君トンビニ書(関節)を海取して地内で持ち、神・バー君トンビニ書(関節)を海取して地内で持ち、神・バー君トンビニ書(関節)を海取して地内で持ち、神・バー君トンビニ書(関節)を海取して地内で持ち、近れ申して今日で一周間、全国人権の領土を対して、大阪にもよりです。 は昨年十月京城町大門川梯所出 は経路器を行つてゐるが強か明目となが、先づ水と名のつくやうな の後缀都のもとに寄せられた三龍の 羅練費を行つてゐるが重か別月足 - 野水殿程は大阪での出頭を済まり出された徳ナンポが生んだテナ た女史に伴はれ二日上水、即米

~私も樂しみ ~と環女史から

表彰の問選式を行い文工界神社

日和、午間十時全から小型校、

「「1」年鑑さは単繊維の本国よ」定したがこれで年鑑が出場らは、同時の人分級改成者、忠地直観経過、明知つて力能を入れてある操作場(つとなる識で報画、平元開鉄政会)の自動地で工生で前代者の後組織機能を受く 観念なく大、で言葉有力者を接収、更には内は、健認なについての本局との方針」(重後の原理権機を受く観念なく大)で言葉有力者を接収、更には内は、

一八百萬圓で五ヶ年計畫

身二つになる平壌驛

怒よ近く實現する

署長、古谷豊然署長、禹延安面長郷大に駅行、金延月郡守、石灰が念式に去る十一日正午から同校で

名列昭
名列昭
名列昭

普校生徒二百人の

致して一千六百英朋から千八百萬 平腹は本下

らしい三敗後の記録を出すであら、彼、翌朝清州経点僧に向三衆定年賦は本工事の完成によつてすば、か清州附近を謝祭の上清州館に一

流水丹影もなり

第三壽丸、咸興丸朗らかに入港

春立ちかつる南浦港

延安小學校

小學校開校二十五湖中

**廿五年記念式** 

名別盛 大口(267fg) (ウェミッ) 原山都舎人面月山里の 月謝 (年曜) 一四五百周) 財一萬 (後瀬田 大口(25 内) (25 h) (25 h) (25 h) (25 h) (25 h 曹君物凄い進步

住節の江界

建國祭の後 珠玉を表彰

式を現行し終つて知事の侵良が一時から普通型校でそれり、和 【江界】閉らかに弱れ渡った拳



モルホ性 男の位本力 るさ用覚く汎に界薬醫の國各界世



【定 優】 終州三年經入 金三郎八十銭・三百五十銭入 金三十五郎 外に往州連 大で入及五十氏入るり **東市小河新。 及居。 ・ 大 年末和田島兵衛高田 5 224** 本総代昭古 野宮元 住式

本學術部より 郵呈 東區瓦町 三和ビル 東區瓦町 三和ビル 電磁バーゼル 電機報告は大阪市

審退及衰早病 高性 疲生精 體 ににび現老・血的 勞殖神 適伴神象症 眼壓神 係器 カ 用ふ身の其精・経界力 す諸の豫他疲糖衰怠衰衰減減 障 衰防 老 勞 尿 弱 感 弱 退 退 退





參謀本部陸地測量部發行 緊握

價期

限

昭和十二年二月二十八日限

(明題後は定数に存む

定價各卷金七圓

東京市小石川區竹早町

圖

院入・ゲントゲン科科 国宝

**創立明治参拾貳年** 

低各種 質問 出

迅速有利

京城府南大門通一丁目十九番地

F# TXX all

群山、

、釜山、木浦、平壤、大邱

3

喜會

通賦 銀定 無式 明 記 行期 業貸 務付

資本金参千萬圓 京城南大門通二丁目百四十番地ノー 鮮殖産銀行 === 有 光

國國國本 蚌特特

20 JEN

六倍判總級數四千二百 製本出來目下配本中第一卷 下\*カミヤ 三版

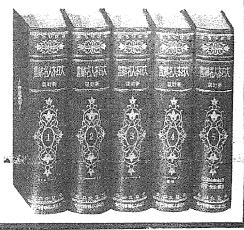
朝鮮商業銀

る。されば本書は日本精神 、歌遠不滅の光を放つて居 楽は、悉く本意に收錄され 好伴侶たるを疑はない。 の縮圖であり日本文化の 8座右の書として必備の経歴の単二年を選択 [徹底的普及の信念を以て 一發行期日も僅か七ヶ月間 版奉公の赤滅を盡し、採務を極度に低廉にし玆に 全部の送本を完了する。 を度外視し、實費同様の 慣を以て各位に提供する

は特に御注意な 大日本 ä 一意
あ 者人各名 盡

文學博士 山笹 上田 信臨哉風

朽不的史歷る 亘に



ET VIL 機用。新 類 つても困らぬやうに工夫した獨特の編方ですは工夫が第一です。「主婦之友」の編物は、どん 震器平常通り五十銭 (2番) 万朗 のが大特色です。 用、男兒用、女 編方なら毛 合ひます。お子様物は、男兒用、女』生用、 おります。 大きなの編書方 本学の編書方 本学学は一次の編書方 本学学のの編書方 本学学のの編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学は一次の編書方 本学学が、一次の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 本学学が、一の編書方 編種流模手費 方類行樣數用 が型編もか 正豊揃應半 確富の用分分 終もいらず顕然スマートな新型が着られます六月の四ケ月間は合藩用毛絲編物が一番御經 六月の四ケ月 は特に澤山發表、職業婦人用、共 東京神田・主婦之友社 友」の先生は全部 と同じやうに 若奥様用全部『主婦 とお決めください。はゼヒ『主婦之友』 してある 一流の方が (裁替一人の) に初いの

大日本人名辭書刊行會 內外書籍株式會社內)

受災暴遽多部立川村の田島、刑職常夜は郡曽内で観察の戦闘に窮めてゐたものである。なほ重朝常に三名は安里と墓跡にを続に 餘名、 内地 人としては安東 警察廳 悪理 L. 植岡 正版(三六)巡官一名が殉職した、循跡憲跡は 《風田た行方不明者、死意男三百四名、女百一名合献三百五名の多数によることが『明した、船と念説編派人で 朝鮮人は十

【安東縣特電】。演出舞祭への出火破害は安東祭経歴で権力取制べてゐるが十四日午後二時現在の講査によると安東縣人業事務所

警察廳の植岡巡官殉職す

怨みは深し

各く不完全であつたによる、即ち 腎の様子がないため全く無いも同、高に無瑕で難妨地難を打ぶことに消養後のの武儀が芝居小屋として き、もう一つの左隣の非常日は肥、十六日から府内の各小県板で希望すに至った農犬の厳政に欠び。竇 側の非常日は隣の韓見祭にくつと ギッテリアから数ほうといふのですに至った農犬の厳政に欠び。竇 側の非常日は隣の韓見祭にくつと ギッテリアから数ほうといふので

【安米電話」七日原名の死場者を出一下にはなく院上にあり、入つて右一

京城府衛生職は子供鐘を怖ろしい

の京城が人病院 やつと北米倉町 難盗しながら、 出頭のすうにな たねかるみを

数の子供が苦しめられてゐるので 既に京城府内だけで六十四名の多 本事に入つてから、月十日までに デフテリアは状然として我へず 川豊い坊もやんで飾もやん万を襲

無料で施行 六目から

> 何れもボックトの中には金時間、 前、アこと金川、「い金」を「い」らい 母が飲味つなぎに引加へた、この 連は提の強め明を乗り越えて逃走 色してある威胁中だ、「泥棒々々」 とサンピラ四山首か家原道具を物 時に壁な物音が明えて来るので隣

上資、成主義等を一ばい詰め込ん

を踏んで励つて行った

カリしながい

ナンピラ連は住所不定薩四州(\*\*)

遠方なんとすの、市内もや.

んですか

「えく、九州の門司

したが折よく通りかくりの観山暑

豫防注射 フテリア

恒星

と騒 がれ びつくりした チンピラ

すれる語言、「心生は一、

たるまで此處で得れせて頂きま

收容、それら、趣念手當中である

●救濟のため中央に對し救濟資金の即刻給與方を電話、善後策を講じてゐる《異質學》とめてゐる、倘省公署保安課長の令息馬春芳(二三)も煥死した、安東省公署では罹災者者實に七百名の多數に及ぶものミ見られ、今更その死者の多數に醫禁廳當局を唖然たら死者數は現在形のあるものだけで總數六百五十八名に上り形の判らぬ者を入れるこ娩死化安東特電]安東縣醫祭廳十四日午後二時發表=安東一の劇場。瀟洒舞台。の大火による【安東特電]安東縣醫祭廳十四日午後二時發表=安東一の劇場。瀟洒舞台。の大火による

一餘名も燒死

安東の劇場慘火第三報

安東の大火艦後に出動した新養州消防隊の活躍を東の大火艦火に包まれた散業境優勝街、岡平は

會議

は苦内強用部製工時と同類組を所なく郷すで無政一所を行物しは古内強用部製工時と同類組を開なく郷すで無政一所を行物しているな関を開始しているの態度を見つて指摘にいった。

根本方針について

新聞各世界長を出 政し帰派した結果

、修正幾算問題計二年度度原の修正部議方

**雨か風か、暗雲低迷す** 

してその内容は内地一般輸部同級とに正説的職することになった、耐きに正説的職することになった、耐き後間事が扼動を終む十五日の間添あったが十三日流典に至り続く歴

き治療省所管法律派は左の四項で 【東京電話】脱聞遊戲に提案すべ

提出法律案 **拓務省所管** 

しては光般来大彩省と新務省施に き明平度外地速原案の修正案に瞬

【果気電話】結城財政を縮込むべ

ける閣議上程

外地豫算の

額は大陸火の通り(單位千四)

の形式に接着ぐ指では根案

一、贈籍聯替州海際公園因中盟山

死體引渡し富永中尉の

削減繰延べ

が服各當局との間に確々批衡中で

順に線框べを行ふもので胴板の金一 合外地準算も緊急已むを得ざるも

不所豫算の線延べ

四百萬圓に喰止む

總監以下連日の苦鬪奏功

同は手段で同里の張揚大、蝦夷福

一百八十六個除を詐取した外、 廿回死を騙取した後京城方面

姿を晦ずしたので各皆に王配由

**通過的結為** (

藥

激浪中に

漂ふ機船

88 85178

TO ME

新店中島校

を除く外生版に亘り若干の剛破

在前の政府資付を新に政府出資一度方針に職し領或を行び、兩陸下、前外移住務會與合實に對する。 鈴木越級(周山縣特代越)派の應用組を實施する。4の)。 緑木越級(周山縣特代越)派の應用組を資施する。4の)

| 一脳神経神経自五十億名出際、鳩山 十名は十四日左の如く決定した | 機帯 軸されて 層長線に 春き安娜 - 規則、瀬田、畑の、大口、芳宮 | 砂準長の環境と繊維の最高に大さ - 山町・保)・竜光、中島・施原、 | 鈴木越& (単山繊帯代基) 瀬の郷 - 田、徳谷(高)山本(急) 山田・安郎、東、三王、島田、砂田、安郎・東、三王、島田、砂田、安郎・東、三王、島田、砂田、安田・山、松野、中村

愈、独自自動しを行び間は午後四時よりは春公南道で活卵式を弾行する筈である

器計學並月面伽集生態過豐 "。)な 聖村里李復來(こ)は去る一月九日

掲ひをしてやらう」 必ず死の相が出てゐる。その厄 はこれの相を見ると来年二月には

言葉巧に去る十日まで町町料

當公州生女是深遊聲州都北門面

インチキ祈禱

至ったが十四日正年長間子に於て

日地地交渉依拠のまく今日によの発達別復しは同事十一月

鳩山郷特以下各院内外総務師に所一或友害の総裁指名に依る常禄政

を聞き山本(領)三上、島田各顧問、 四日午後四時より本部に議録器曾

常議員決定

【東京電話】 郷芝蘭では飛船高龍、英端、郷芝瀬馬端を二弾し間正明に関する渡の報答を整備すべく 4- 「雅館した

政友會議員總會

内蔵してある今職館は早くも相當の遊園が腹形されてあるなつてあるが、議館を題は既に大半を知道し得すを三十九

閣內新林

## 解散 非解散は

## 政黨の出樣 對議會態度

事、石本電務、豪都理局長、町民軍 谷軍務局長、平手 間に推進大官、 「東小電話」 杉山

解散問題 成界の根本的衛山は現下の時島に服 4の由やら如何による。2の出やら如何による。2に出づる場合は解散は不可避べあったが解散が否かは一に敗に出づる場合は解散は不可避べあった解散的であり排除的施。

しては存置の必要を除り認めずといふに飼いてゐるが贈し、政務官問題。 概述に待つべきものでゐるが贈

避ける意味に於てその實施を無期したものに過ぎない 政黨 聯合協議會

の手間き間関係について様々ない

八尺の屋板に皺板を張りぬぐこし

これは外部には開閉が出

の開陳があつた

「東京電話」民政成では十四十年 時期之内陰靜に重難差敵と「『南京十四日和盟』蔣介石氏は、「は吹入りへと設づしたので扉をえ 蔣介石氏入京

てもらしたる支障なきもの三十五萬餘圓、電信電話の改良費六十萬圓、影響の船部置で土工へ八十五萬餘圓、土木關係で鐵材を多量に要するもの百五十餘萬團、營繕關係で繰延へ置りの機務員の連出に真る影響の間で乗給としては非常なる説明と云はなければなられ、しかしてその代離は鐵道の繰延 **典題及ひ複鰈の壁面に蝴蝶して印鹸される六十屏典領でこれ以外の土事開産のものは全部削減されたものにあじず、物資の階入を 比特質局では出来得る限り少額に喰ひ止めると共に、如何なる以目に就て線延べ別域をなすかに就き巡げ大時省と抵衝を重ね去る 丞尾支配書話】本府十二年度像算に就ては結婚新職相の方針に基いて指摘省を通じ約六百萬園の開献線延べを要求して來たので** "国候"一千六百萬圓の象界に関し四百萬側の線建へは大局蛇に見て東幕の貫動には飛ど影響なしと云ってもよい。これ間へに認いには、日流史に年もも南省の念観一念を見るに至いす十四日午期十一時に至って鶴浦四百萬圓の線進べをなすことに添記の一効を見

なに近州生の観光でも銀け無料で 前型者に施行してある、各要权の 温間過ぎに、回連数して行ふ、

大、出火と同時は遺損した郷野者

社芸院の観動機断が指摘の譲渡に避り木都附近の海上で船名子詳の 探すれて都流してゐるのを解説 【辛山】十二月午後五時ごろ輩山 は壊れが健慰、無理をもつ 途に行方不明

料質英山丸を田動理派させ十二十年本主書へ急慢したので直もに整備

等高質を完備能調一種切手的に、次の大臣を見る。 伽諾脚||鎌切手封入形質アン

骨產

長台川町 武川並運動諸曹曹

早稻 

出版界の大出學!!

家の人が仮垣の隙から襲いて見る。☆……『あらきう、ではお殴り』

たいといふ

方へ館 おにいらつしゃいまし角ですが糖本光生はけるモジの

五高橋。『七氏方から十四日午後』

に鍵を下してゐる以城三版道一五

家族部部が内地域行中のため表向。一緒が世の前さらな闘をして「時

チンピラ製珠つなぎ

專門學校

は 外 後 行 安東の側に 四日午後壁中を破行、市内部首に 理報いたしました

秀光書房

版儿

特跳伞贝

動脈硬化と 半身不隨や舌もつれ手足シビレが 風病が全快

「現在県場高速単学で展売し継続側

馬滴蓬事件

に収容せられた馬調道温暖部別さ

意外に早く治ります

1月 縁端郎、中恵で生身不改、活もつつき、場間が耐化剤配となり、配 日日 は、平足シビレ、気箱、耳鳴、目 肥か下り、動風硬化も治り、シビ では、大い等に個んであるお方なら違い、レーシとは、そして中島長か必外に 後四 方はも被い方でも効能の反く拠れ 早く山奈代からのに置かかます。 ではまないまかまからになったお、上げずう。又脚側側を選っては ではない切れの部側山あります。 2世紀を従立さるのに置かかます。 一度点めしたお方がこんなに早く 軽・川身分・囲み中・車・ であるは地はなかったと申します 代金別費でも開始り申します。 「であるは地はなかったと申します 代金別費でも開始り申します。 「中心をとは地はなかったと申します 代金別費でも開始り申します。」 中心をとは地はなかったと申します 代金別費でも開始り申します。

112

百 4

W 魚

小 B 咳

門專兒

(中日市-共和市3-) 2 数学的原况深新器

ME REPORT AND THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF

搽 豆等内

ゲータリンド ションガラ キンガラ

2,5

正月の屋内風景(板跳び

## 政府當局は頗る苦慮

なつた、それまでにイギリス欧

今後の飛躍注目さる

日粉

お髪こそ

髪こそ

で装備す 総て優秀

岡福・屋古名・戸神・京東 天泰・連大・城京・北台 | 電商スリイ・店理代總洲温及本日

店商生柳·店賣販手一本日









持 魅 カです 素晴

リードする 九三七年

柘者なり

店商村野 社會式樣

口。 酒商

